

豊かな人間性をはぐくむ 家庭科

もの・お金・資源を
大切にすることを育てる

～意思決定に至る過程を自立につなげる授業の展開～

宮崎大学附属小学校

川崎 タ子

研究テーマ設定の理由

全てに限りがあることに気付く

もの・お金・資源を
大切にすることを育む

- ・ 自己を見つめる
- ・ 環境に配慮して行動する
- ・ 周りの人達に配慮して行動する

- ・ 自らを律する
- ・ 社会の一員としての自覚をもつ

「豊かな人間性」の育成



「金銭の使い方」

自分自身の行動を見つめ直す場面設定

意思決定を迫る具体的な場面設定

小学校

「物や金銭の使い方を考えよう」

必要となる物がある場合購入するかどうか考える

中学校

「金銭の使い方や商品の購入について考えよう」

日々の消費行動を振り返り、改善策を考える

高校

「消費生活と生涯を見通した経済の計画」

社会人になったことを設定し、一人暮らしでのお金の使い方を考える

一時的に必要な物に使うお金



日常使っているお金



将来、生活に必要なお金

「金銭の使い方」を学ぶために

お金やモノがあることに感謝

お金を稼いでいる人に感謝

よく考えてお金を使う

自律して生活する



小学校5年生 家庭科での実践

題材「物や金銭の使い方を考えよう」

題材の目標

金銭の関心を高め、物の選択や購入に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、主体的に生活を工夫できる消費者としての素地を養う。

このねらいを達成するために・・・

自分のこれまでの生活を見直す。
どのような買い方がよいかを考える。

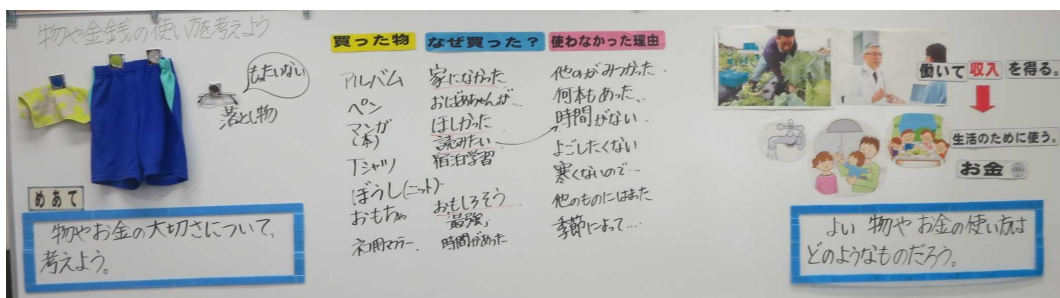


消費生活における自分の問題点に気付く
限りある物や金銭を工夫して活用する力を身に付ける

指導計画

第1次

自分の消費生活についてふりかえり、学習課題を設定する。



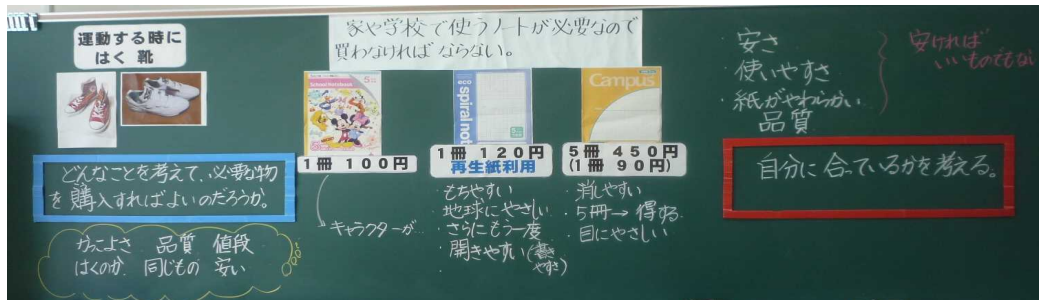
- 身の回りの不要な物を持ち寄せ、それらの入手方法を問うことで、金銭の大切さと必要性について実感できるようにする。
- 持ち寄った不要な物の活用頻度や、使い方について話し合わせることで、問題点に気づき、計画的に使うことを考え購入することに対する意識をもつことができるようにする。

第2次

物や金銭の計画的な使い方について話し合う。

(1) 欲しい物があるときの判断基準について(本時)

(2) 購入する際の物の選び方について



○ 身近な文房具であるノートを購入する際の選び方について、品質や価格等をもとに根拠をもって自分なりの理由を話し合わせることで、使う目的に応じて物の選び方を工夫する必要があることを考えることができるようにした。

第3次

適切に購入するための計画について話し合う。

- 計画の立て方について考える。
 - ・ 予算や情報収集
- 品物の選び方で気を付けることを確認する。
 - ・ 目的や予算
 - ・ 分量や品質
 - ・ JISマークやJASマーク等の意味や見方
 - ・ 食品の賞味期限や消費期限
- 購入と支払いについて確認する。

第4次

買物の実践についてふりかえり、計画的な買物のよさについてまとめる。

- 買物の実践を報告し活動をふりかえらせることで、計画的な買物のよさを実感し買物のポイントを生活に生かそうという意欲をもつことができるようにする。

本時の目標

欲しい物の必要性和、購入するかどうかの判断基準について考え、工夫することができる。

子どもの学習問題

ほしい物があつたときの「買う・買わない」はどう判断すればよいのだろうか。

導入で子どもに見せた映像の会話

先生：宿泊学習には全部の荷物が
入るバッグを持って行きます。
子ども：そうか、バッグがいるのか。
よし買おう！

共通の
生活経験や
実態調査に
基づく課題



宿泊学習に持っていくバッグを買うことを、
即決したことをどう思いますか。

自分の課題
に気付く

主体的に問題解決し
実践につなげる

本時の展開

生活経験を基にした根拠をもった話し合い

バッグを
作ってもらっ
たら、買わな
くていいよ。



じゃあ、
本返し縫いか
ミシン縫いが
いいね。

新たな気づきを生み出すような発問



でもやっぱり新しい物を買っ
た方がよいのでは？みなさんは
どう思いますか。

新たな課題
への気づき

学んだことを生かす場面の設定



自分が今、欲しいと思っ
ているものは買う？買わない？

欲しいと
必要の違い

成果

① 限りあるお金を有効に使うことの大切さを気付かせることができた



指導者の適切な問いかけ、導きが重要！

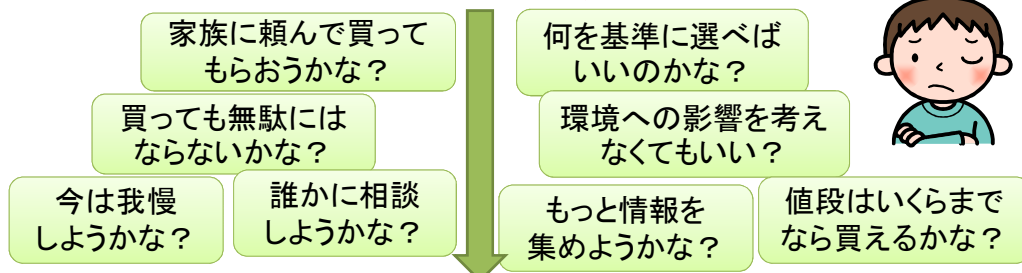
② 家族・社会の一員として役割を果たす大切さを感じさせることができた



③ 意思決定に至る過程を意識させることができた

新しいモノが欲しい！
必要なモノがある！
快適に生活したい！等

考える 「どのような行動や選択が望ましいのか」



意思決定 「自分ならこうする！なぜなら・・・」

④ 発達の段階に応じた目標が今まで以上に明確になった

小学生

家族の一員としての
自覚をもつ



中学生

自己の生活の
自立を図る



高校生

生涯を見通して
生活を創造する



同じ話し合い活動でも視点が違うため、内容が大きく異なる！